

## 問題【英語】

次の四つの文を英語に訳してみましょ。ただし、すべて meet (過去形はmet) という動詞を使って書いてください。

- (1) 私は少年に会った。
- (2) 私は背の高い少年に会った。
- (3) 私は昨日背の高い少年に会った。
- (4) 私は昨日あの公園で背の高い少年に会った。

## 豆知識

## 雑学コラム

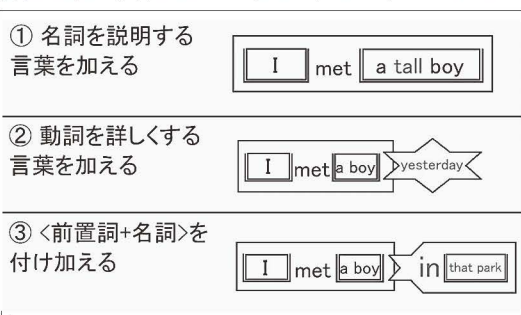
## 文を豊かにする言葉

英語の文は、動詞が持っているポケットに名詞のカードを入れていくことで文を完成させていることを先日お話ししました。そして、英語の動詞では、同じ動詞でもどの意味で使いたいかに応じてポケットの持ち方が変わります。「会う」という意味で meet を使う場合には、前に「～は」のポケット、後ろに「～に」のポケットがあります。(1)の文では「私は」「少年を」の部分を入れたらいいのですが、(2)以降にある「背の高い」や「あの公園で」などはどのように表せばよいでしょう？おそらく、皆さんは(4)に答えるときに、このことを気にせず I met a tall boy in that park yesterday. と書いたと思います。meet の持っているポケットを意識して、この文を説明してみましょ。

そのために、(2)から順に見ていきます。(2)では I met a tall boy. となりますが、tall は boy がどのような少年か説明しています。そのため、これは名詞のカードの中に書き加えられている、と考えることができます。(3)は I met a tall boy yesterday. ですが、yesterday は boy を説明しているわけではありません。そうするとポケットに入らないものが出てきますが、yesterday は洗濯ばさみのように、自力で動詞の板にくっつくことができます。この話の後ですと、

(4) で I met a tall boy that park yesterday. のように that park も直接動詞の板にくっつけたい、と考えられそうです。しかし、名詞はただのカードなので、何か補助がなければ動詞の板にくっつくことはできません。その補助をしているのが、in や to などの前置詞です。前置詞は後ろに名詞の入るポケットを一つだけ持っており、そこに名詞のカードを入れて使います。ここまでで見た「文を豊かにする方法」をまとめたものが右の図です。

今回取り上げたものは、文型の言葉では修飾語と呼ばれます。修飾語を使えば文を豊かにできますが、他にも方法があります。その方法を後日見てみましょう。



今回取り上げた

たものは、文型の言葉では修飾語と呼ばれます。修飾語を使えば文を豊かにできますが、他にも方法があります。その方法を後日見てみましょう。

## 【解答】

- yesterday.
- (4) I met a tall boy in that park
- (3) I met a tall boy yesterday.
- (2) I met a tall boy.
- (1) I met a boy.